

陸前高田市の被災事業者のための施設を整備 ～『一関市大東地域仮設施設』～

【 岩手県一関市大東町大原字台地区 】

名 称 : 一関市大東地域仮設施設
所 在 地 : 岩手県一関市大東町大原字台103番2
種 別 : 仮設事務所及び倉庫
延床面積 : 554㎡
入 居 者 : 建設業、食品製造業(避難元:陸前高田市)
区 画 数 : 2区画
建物構造 : 鉄骨造1階建て
事業開始 : 平成23年8月17日
完 成 : 平成23年11月11日
供用開始 : 平成23年11月14日

一関市は、岩手県内陸部に位置しており、震災により大きな被害を受けたものの、津波の直接的な影響は受けずに済んだ市である。また、一関市大東地域は、一関市の東端に位置し、陸前高田市に隣接している。このため、一関市は気仙沼市・陸前高田市に対して後方支援を行うため、平成23年3月に「合同支援本部」を設置し、その支援の一環として、同地域にあった小学校移転跡地を陸前高田市の事業者が入居するための仮設施設の整備用地として用意し、中小機構に仮設施設の整備を要請した。

施設は平成23年11月に完成した。被災事業者の中には、従業員を1人も解雇しないという方針を打ち出した事業者もあり、本施設の整備はその事業者の方針を貫く一助ともなった。

